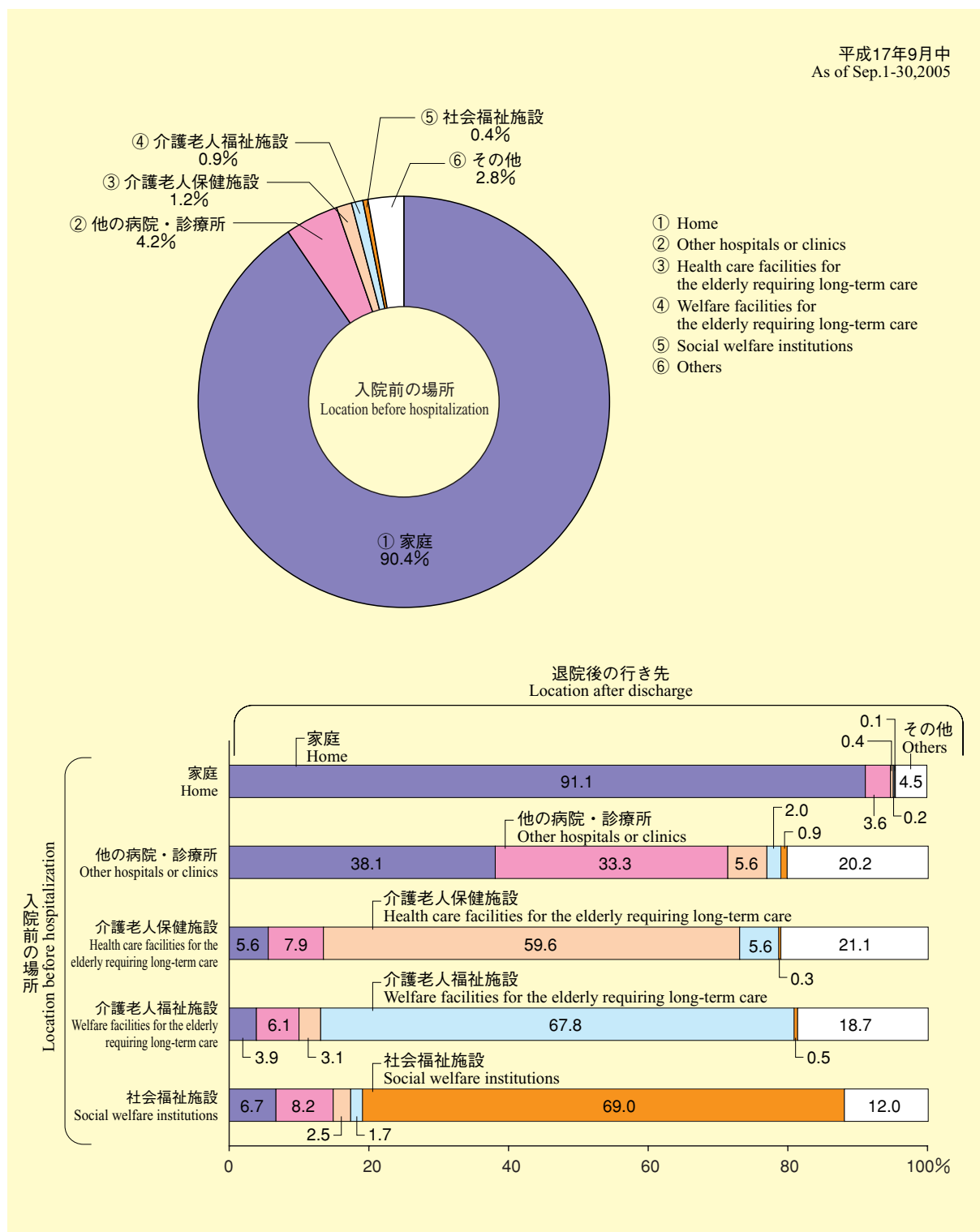


## 入院前・退院後の場所は、家庭から家庭へ、施設から施設が多い

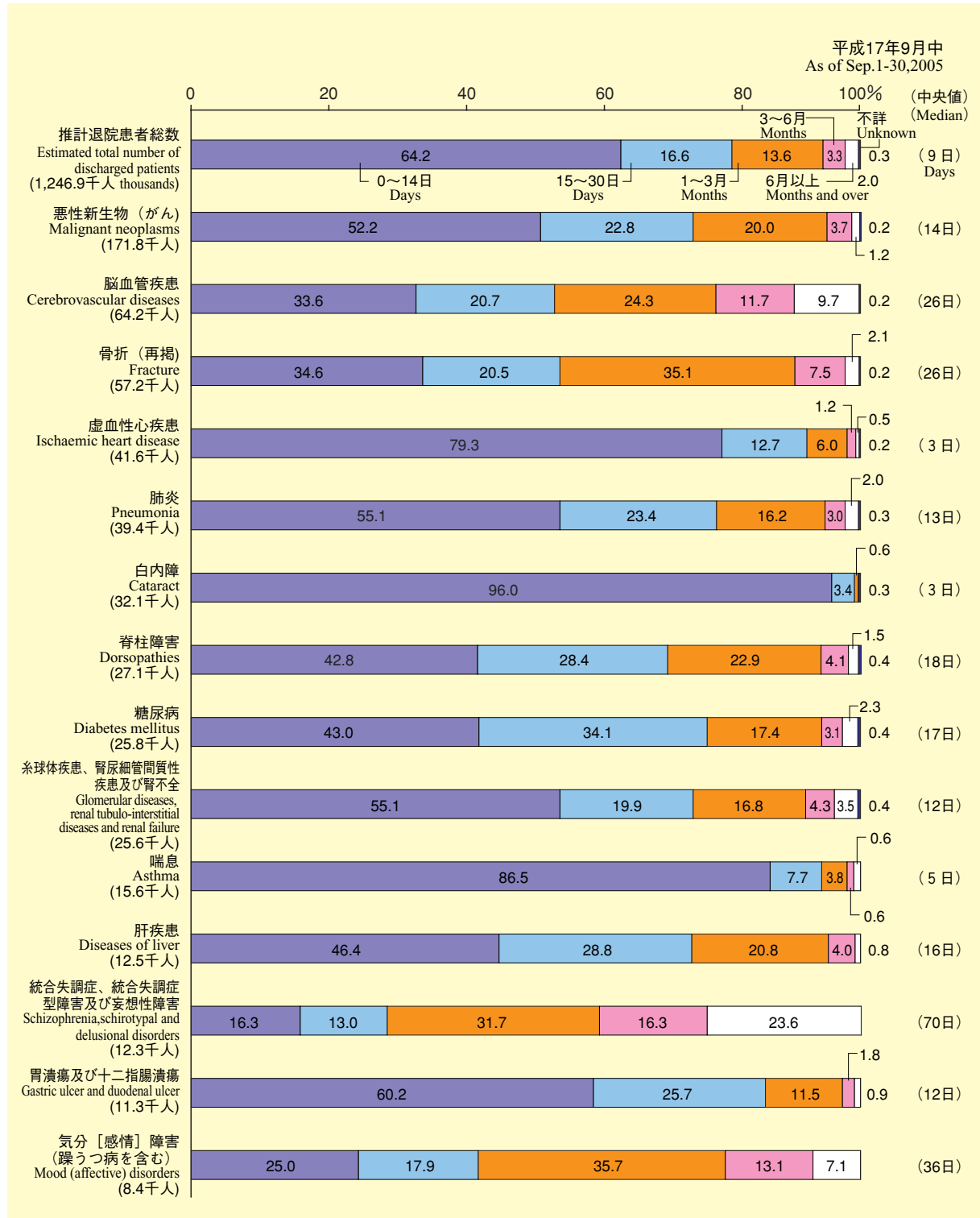
1-8 入院前の場所別にみた退院患者の退院後の行き先別構成割合 —平成17年—  
Percentage distribution of location of patients before hospitalization and after discharge, 2005



(患者調査)  
(Patient Survey)

**6割以上が2週間以内に退院  
統合失調症等では在院期間が長い者が多い**

**1-9 主な傷病別にみた退院患者の在院期間別構成割合 —平成17年—**  
Percentage distribution of length of stay of estimated discharged patients by major diseases, 2005

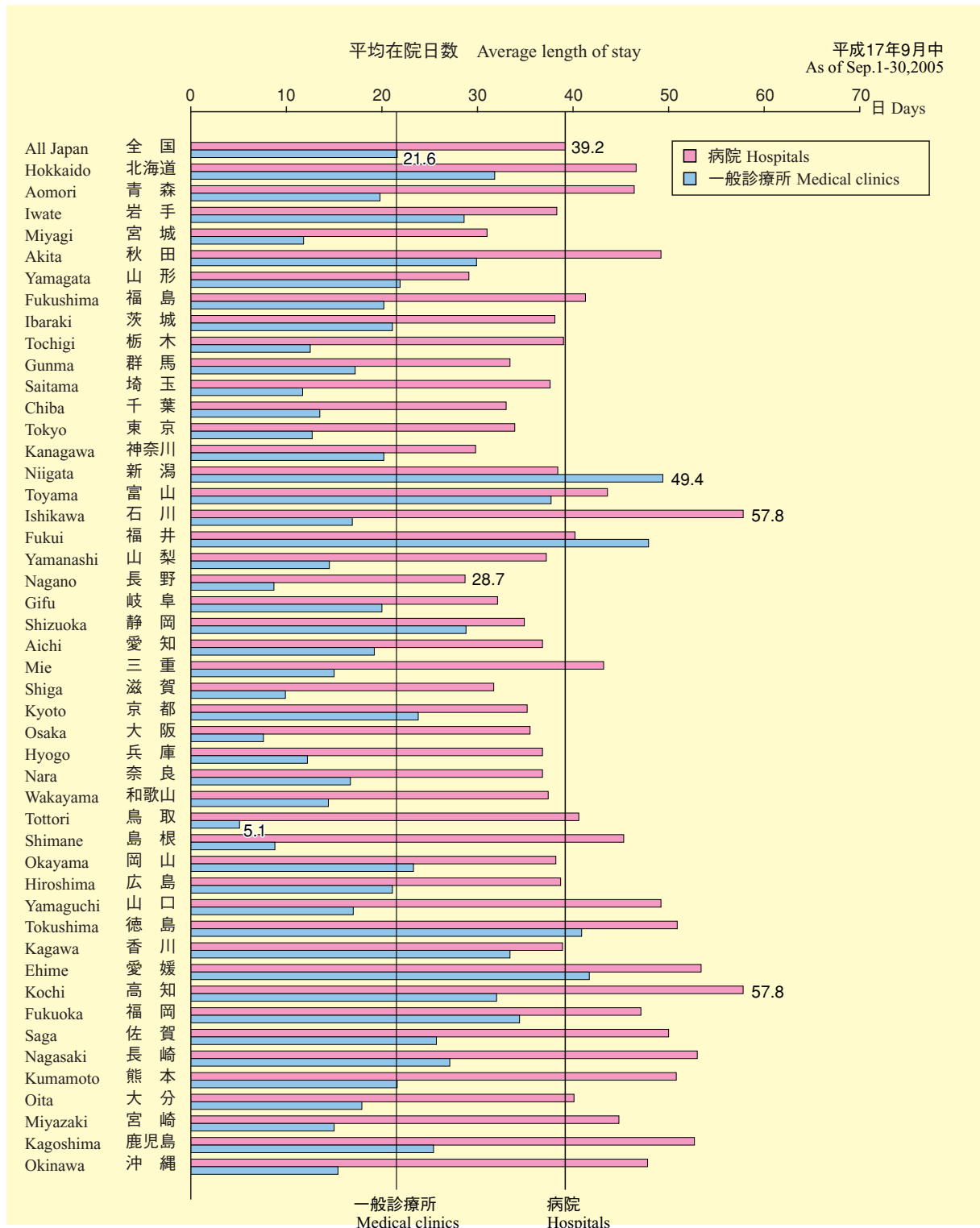


(患者調査)  
(Patient Survey)

平均在院日数は、病院では最長が石川、高知57.8日、最短は長野28.7日  
 診療所では、最長が新潟49.4日、最短は鳥取5.1日

1-10 都道府県別にみた退院患者の平均在院日数 —平成17年—

Average length of stay for estimated discharged patients by prefecture, 2005



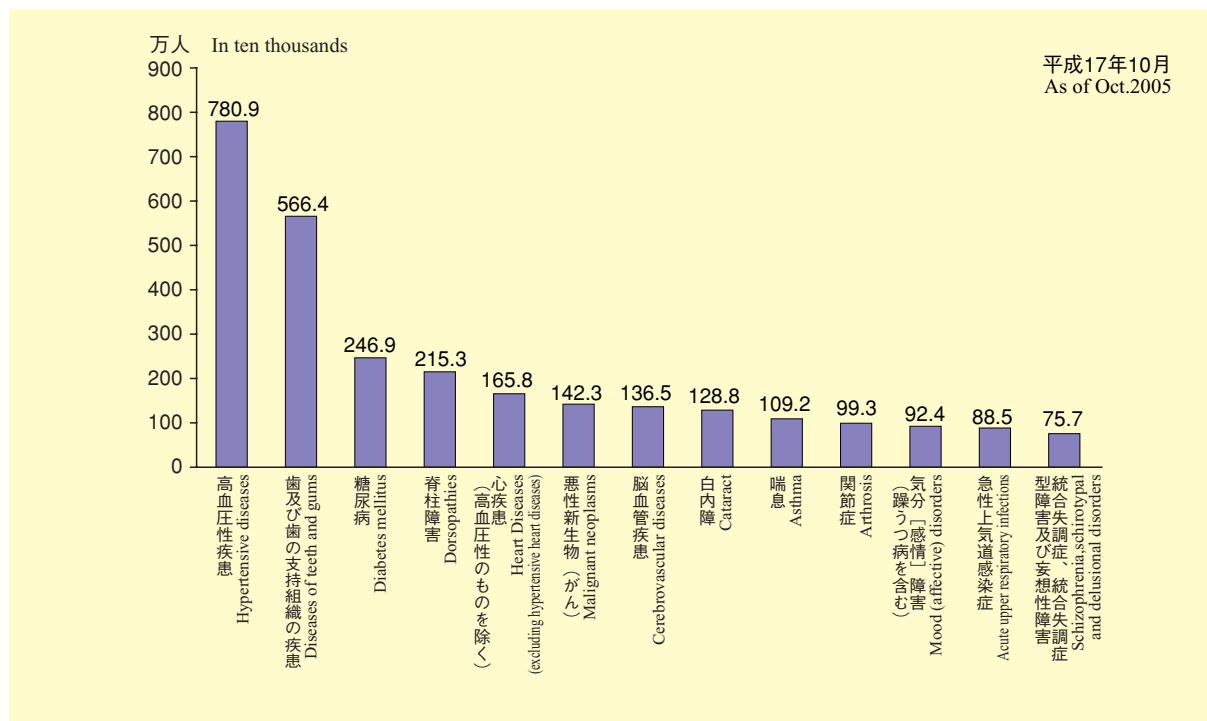
注：患者住所別別に集計したものである。  
 数値は統計表総覧1を参照。

(患者調査)  
(Patient Survey)

# 高血圧性疾患の総患者数は約781万人

## 1-11 主要な傷病の総患者数 —平成17年—

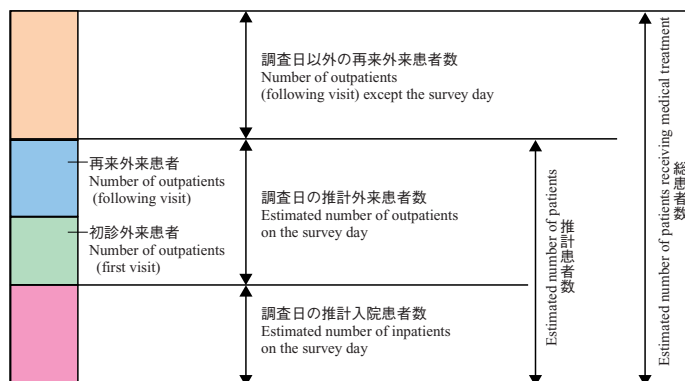
Estimated number of patients receiving medical treatment of major diseases, 2005



(患者調査)  
(Patient Survey)

※ 総患者数（傷病別推計）とは  
総患者数とは、調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者も含む。）の数を次の算式により推計したものである。

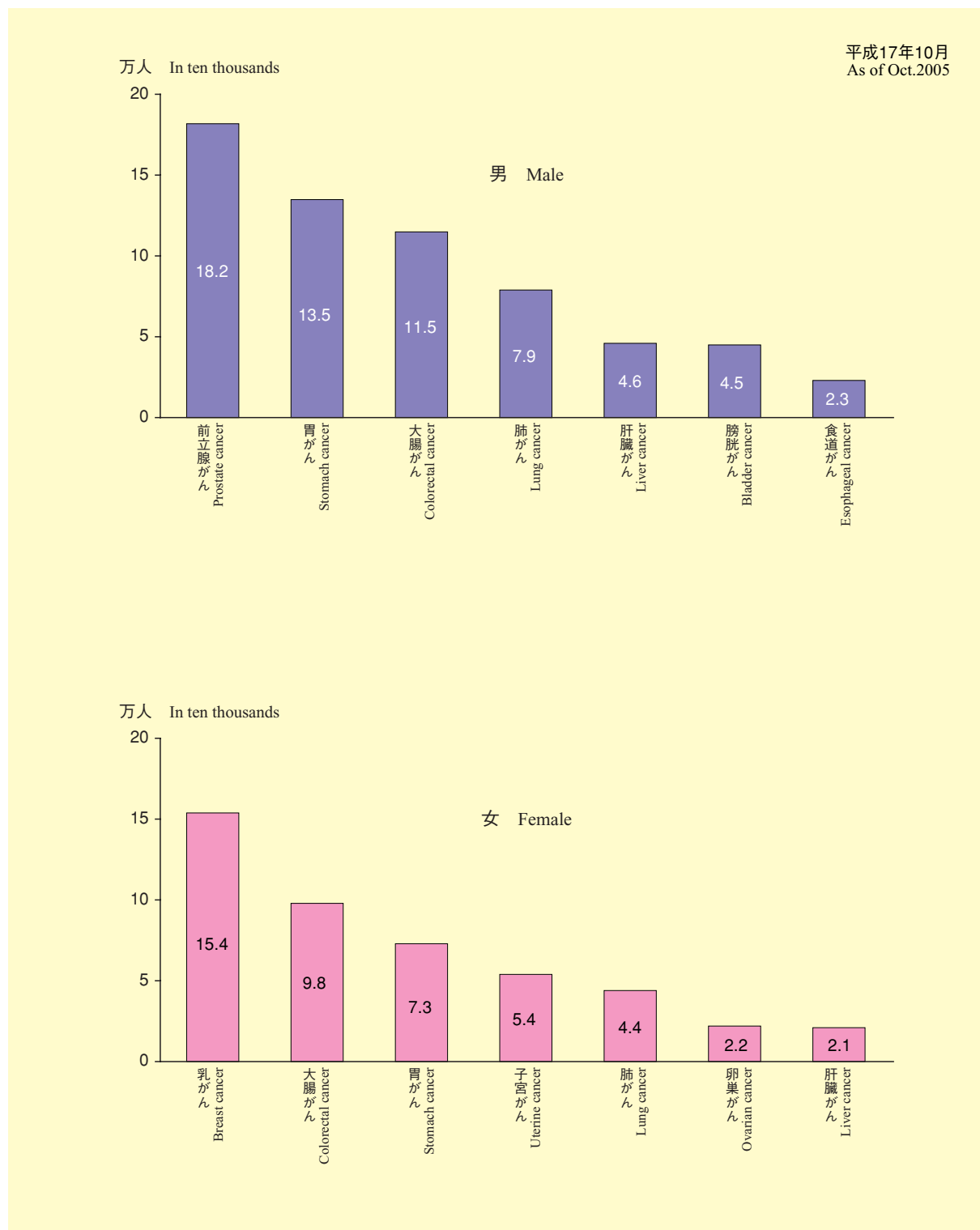
総患者数＝入院患者数＋初診外来患者数＋再来外来患者数×平均診療間隔×調整係数(6/7)



## がんの部位別では、男は前立腺がん、女は乳がんが最も多い

### 1-12 主要ながんの総患者数 —平成17年—

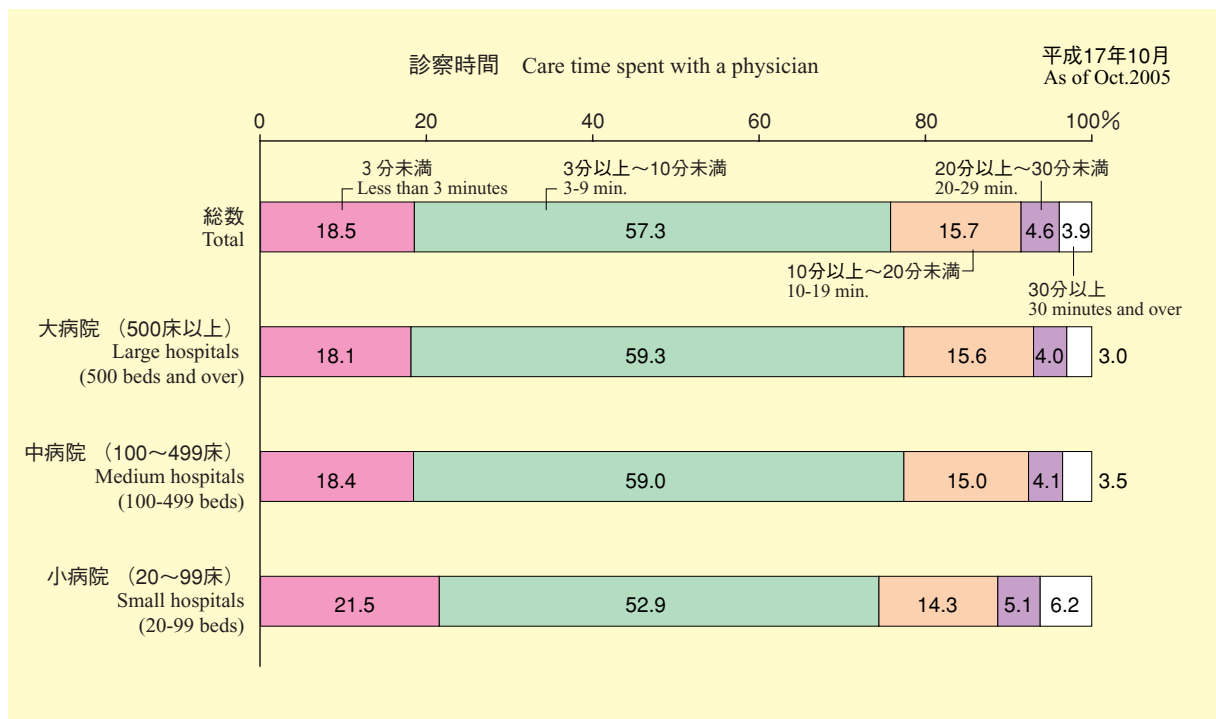
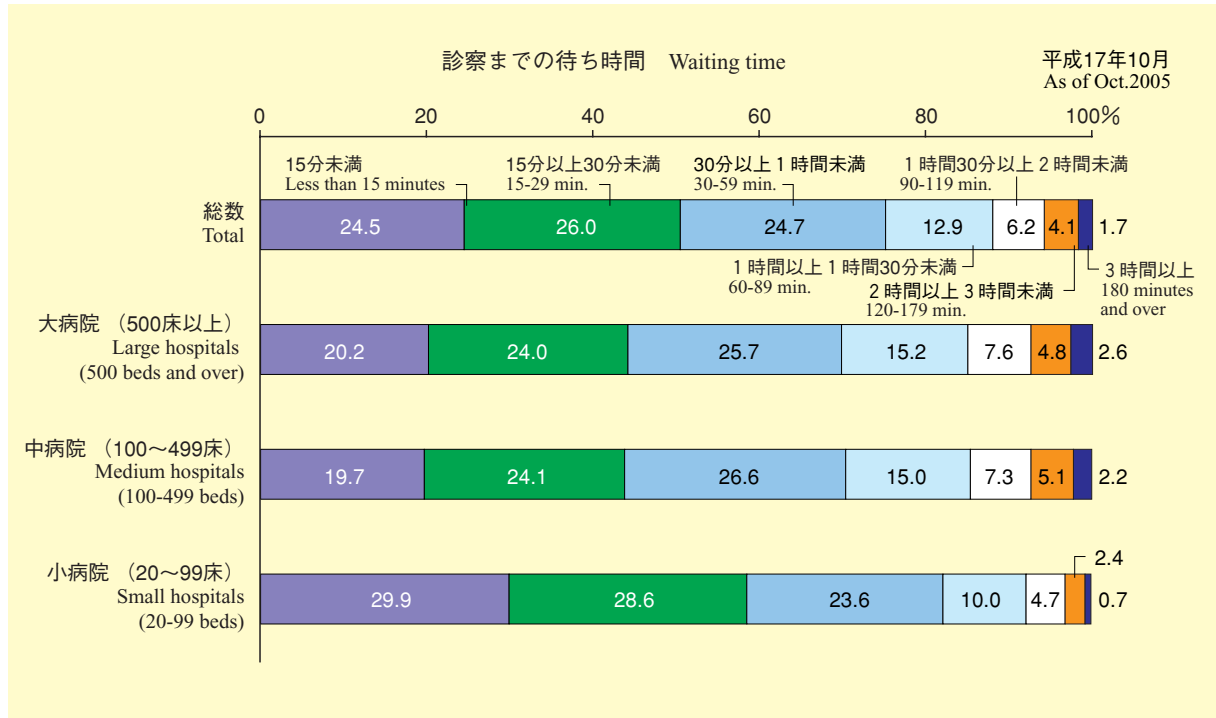
Estimated number of patients receiving medical treatment for cancer, 2005



(患者調査)  
(Patient Survey)

## 外来の待ち時間は15～30分、診察時間は3～10分が最も多い

### 1-13 病院の種類別にみた外来患者の待ち時間と診察時間 —平成17年— Waiting time and care time spent with a physician by hospital type, 2005

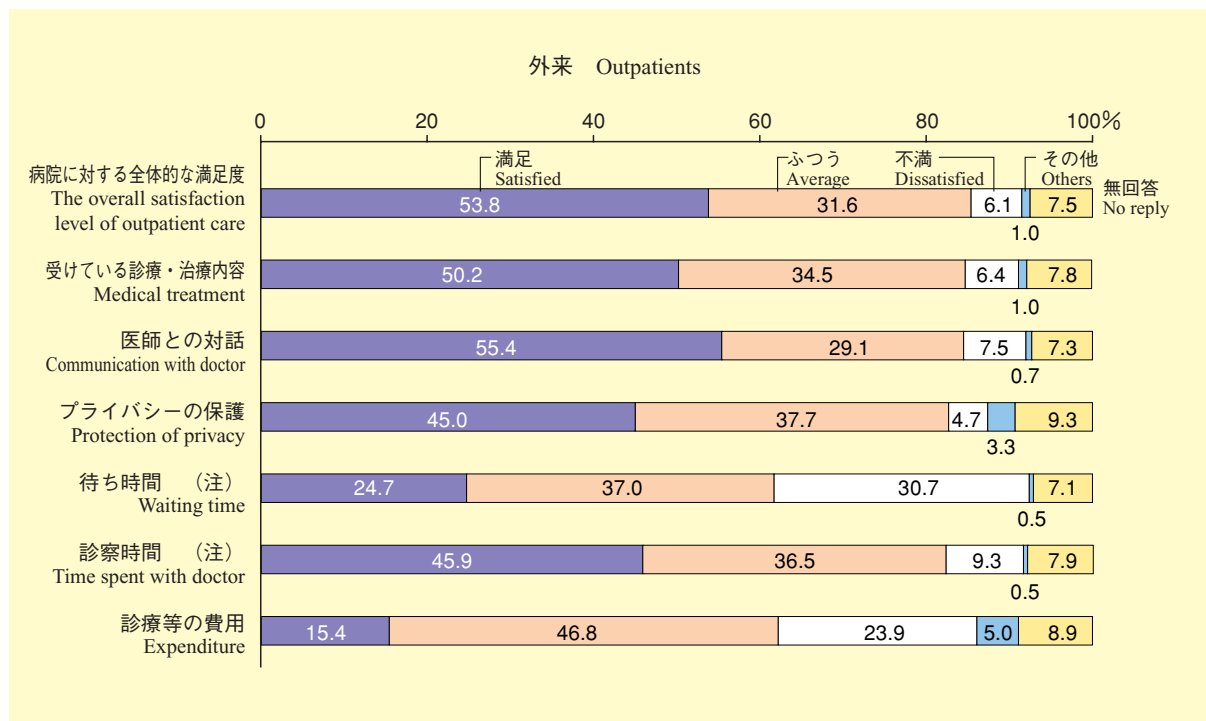


注：特定機能病院と療養病床を有する病院を除く。  
「診察までの待ち時間」及び「診察時間」は、医師による診察を受けていない者と無回答は除く。

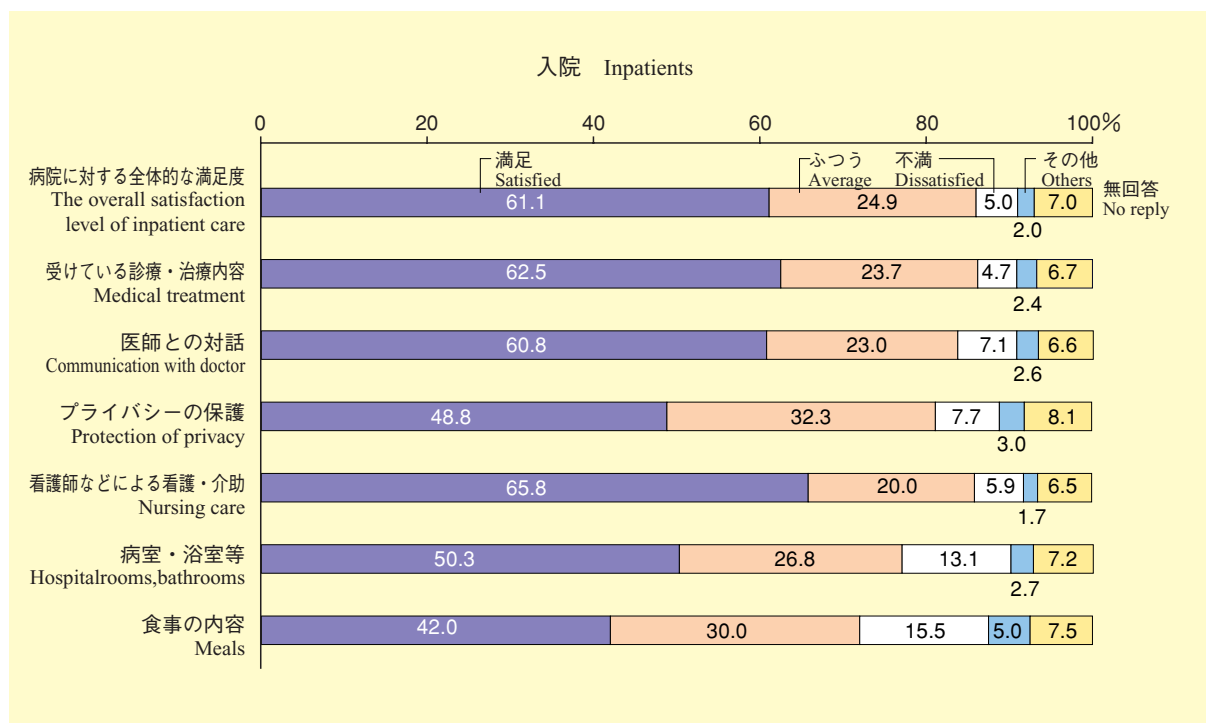
(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)

**外来・入院ともに半数以上が「満足」**  
**「不満」で多いのは、外来「待ち時間」、入院「食事の内容」**

**1-14 病院に対する満足度 —平成17年—**  
**Satisfaction level of hospital care, 2005**



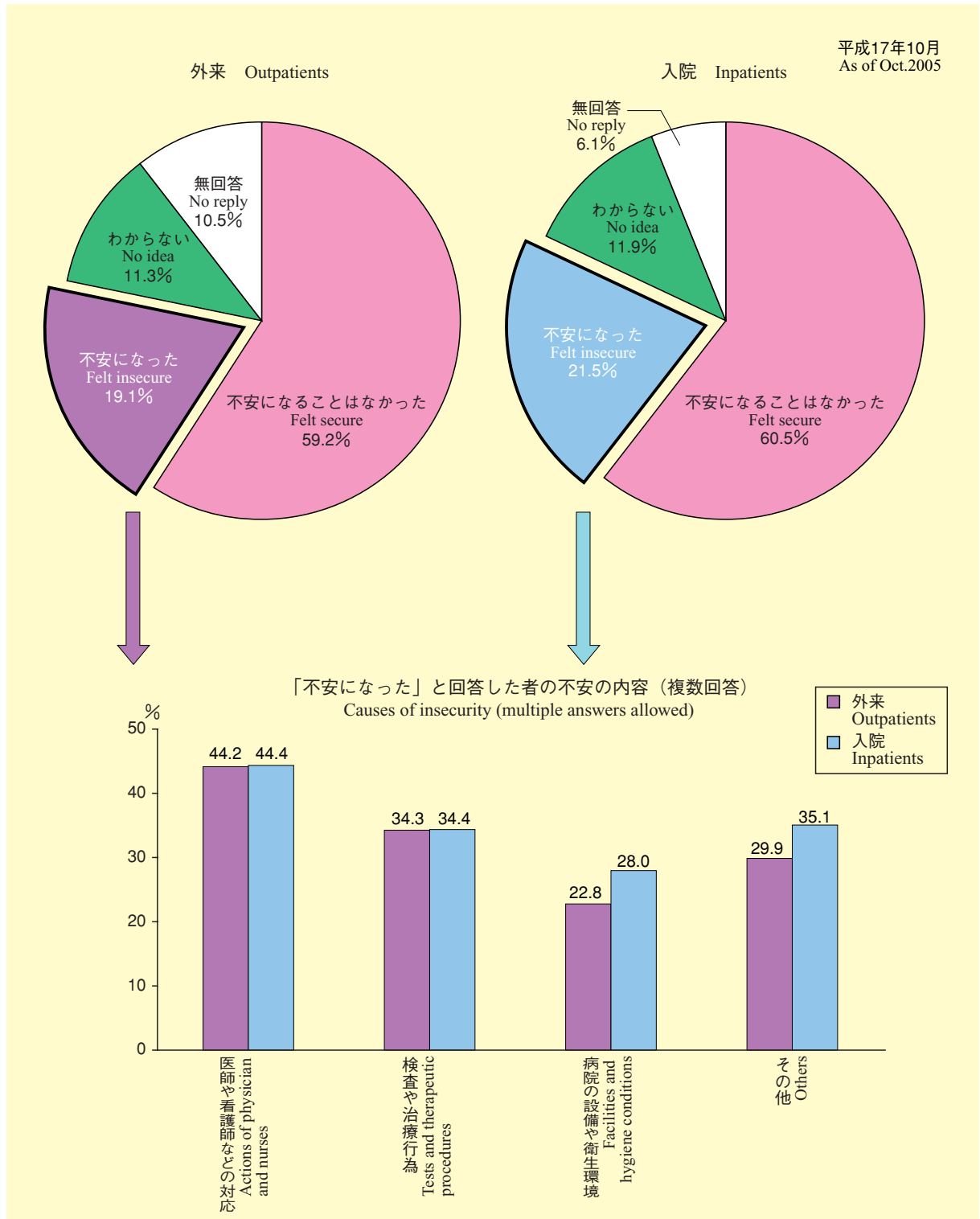
注：「待ち時間」及び「診察時間」は、医師による診察を受けていない者は除く。



(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)

**「医療に関する安全についての不安」は、  
外来・入院ともに「医師や看護師などの対応」が最も多い**

1-15 医療に関する安全について不安になったこと —平成17年—  
Patients' insecurities concerning hospital safety, 2005



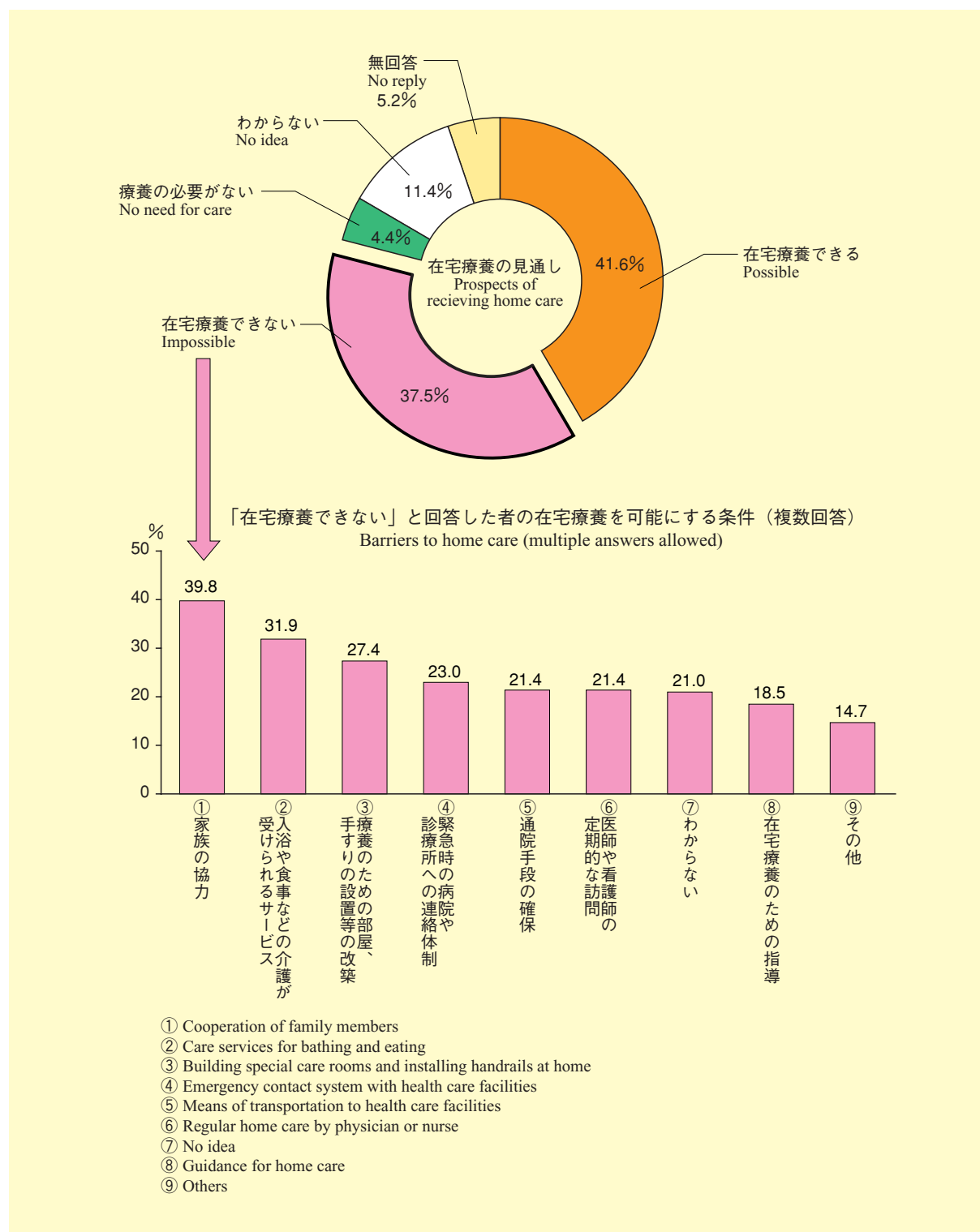
(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)



## 「在宅療養を可能にする条件」は「家族の協力」が最も多い

### 1-16 入院患者の退院の許可が出た場合の在宅療養の見通し・可能にする条件 —平成17年—

Prospects and barriers of receiving home care, 2005

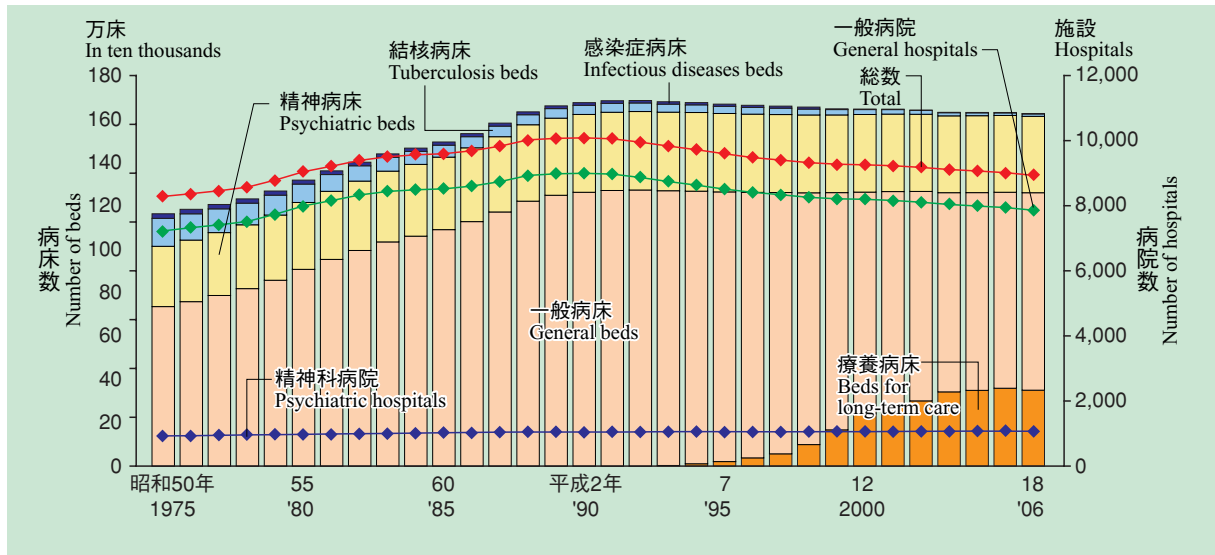


(受療行動調査)  
(Patient's Behavior Survey)

## 2. 医療施設の動向 Health Care Facilities

平成18年の病院数は8,943施設、病床数は162万6589床

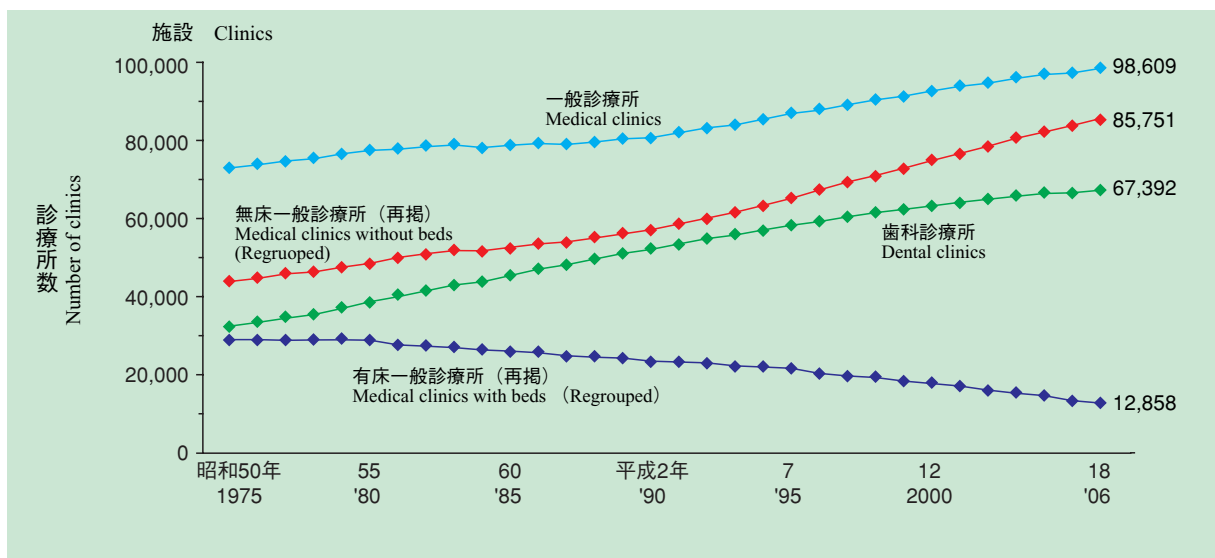
2-1 病院の種類別にみた病院数及び病床の種類別にみた病院病床数の年次推移  
Trends in the number of hospitals by type of hospital and the number of beds by type of bed, 1975-2006



- 注：1 昭和50～58年は各年12月末、昭和59年以降は10月1日現在である。  
2 平成8年4月1日より「らい予防法の廃止に関する法律」の施行に伴い、ハンセン療養所は一般病院に含まれる。  
3 「一般病床」は、昭和50年～平成4年は「その他の病床」であり、平成5年～平成12年は「その他の病床」のうち「療養型病床群」を除いたものであり、平成13・14年は「一般病床」及び「経過の旧その他の病床」（経過の旧療養型病床群を除く。）である。  
4 「療養病床」は、平成12年までは「療養型病床群」であり、平成13・14年は「療養病床」及び「経過の旧療養型病床群」である。
- (医療施設調査)  
(Survey of Medical Institutions)

### 一般診療所、歯科診療所ともに増加傾向

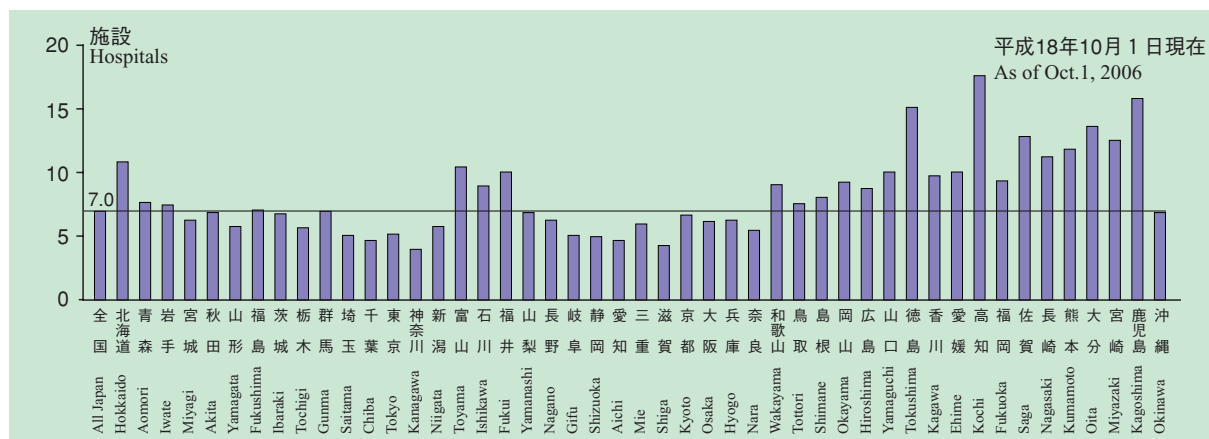
2-2 一般診療所数及び歯科診療所数の年次推移  
Trends in the number of medical clinics and dental clinics, 1975-2006



注：昭和50～58年は各年12月末、昭和59年以降は10月1日現在である。  
(医療施設調査)

## 人口10万対医療施設数は幅広い地域差がある

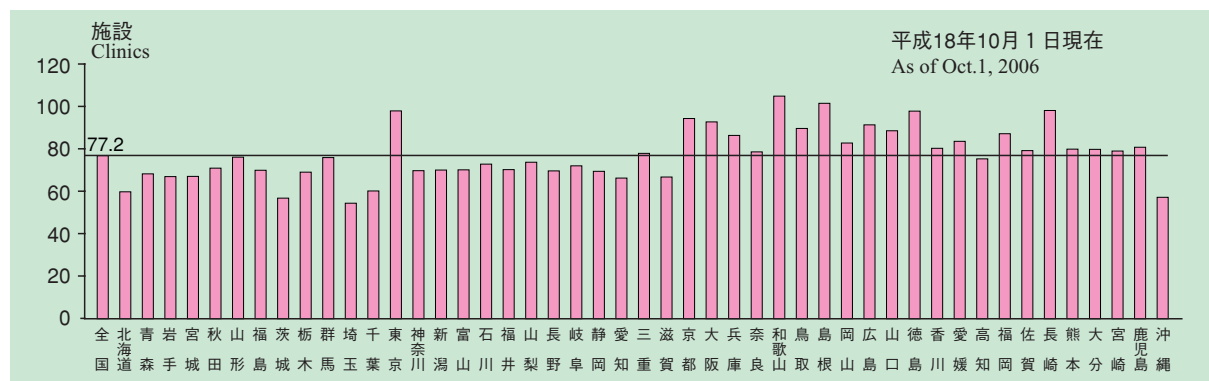
### 2-3 都道府県別にみた人口10万対病院数 —平成18年— Number of hospitals per 100,000 population by prefecture, 2006



注：数値は統計表総覧1を参照。

(医療施設調査)  
(Survey of Medical Institutions)

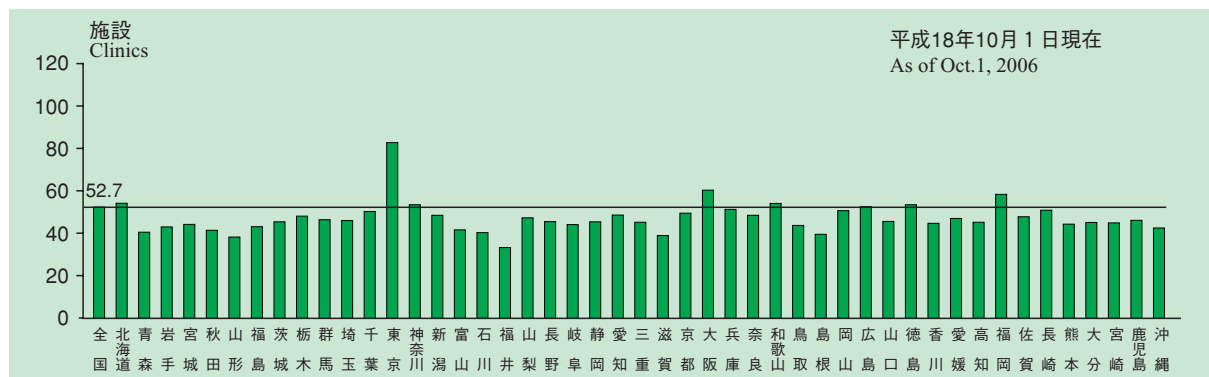
### 2-4 都道府県別にみた人口10万対一般診療所数 —平成18年— Number of medical clinics per 100,000 population by prefecture, 2006



注：数値は統計表総覧1を参照。

(医療施設調査)  
(Survey of Medical Institutions)

### 2-5 都道府県別にみた人口10万対歯科診療所数 —平成18年— Number of dental clinics per 100,000 population by prefecture, 2006



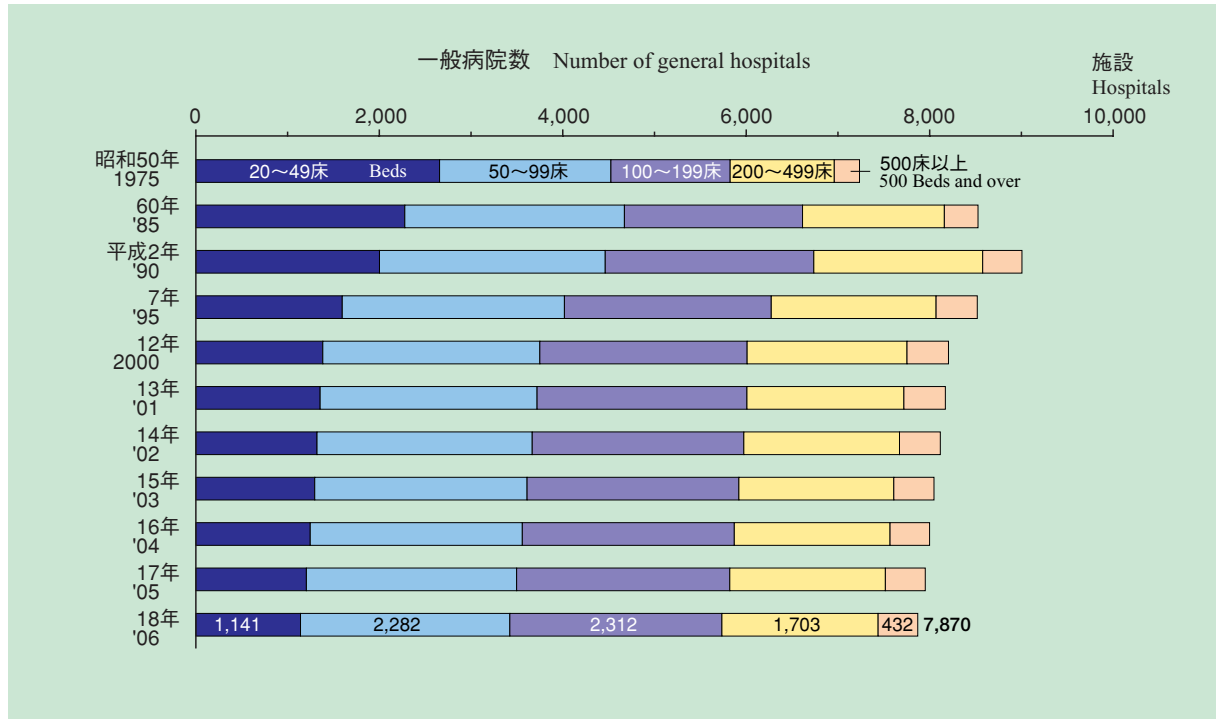
注：数値は統計表総覧1を参照。

(医療施設調査)  
(Survey of Medical Institutions)

## 小規模病院の病院数、病床数ともに減少傾向

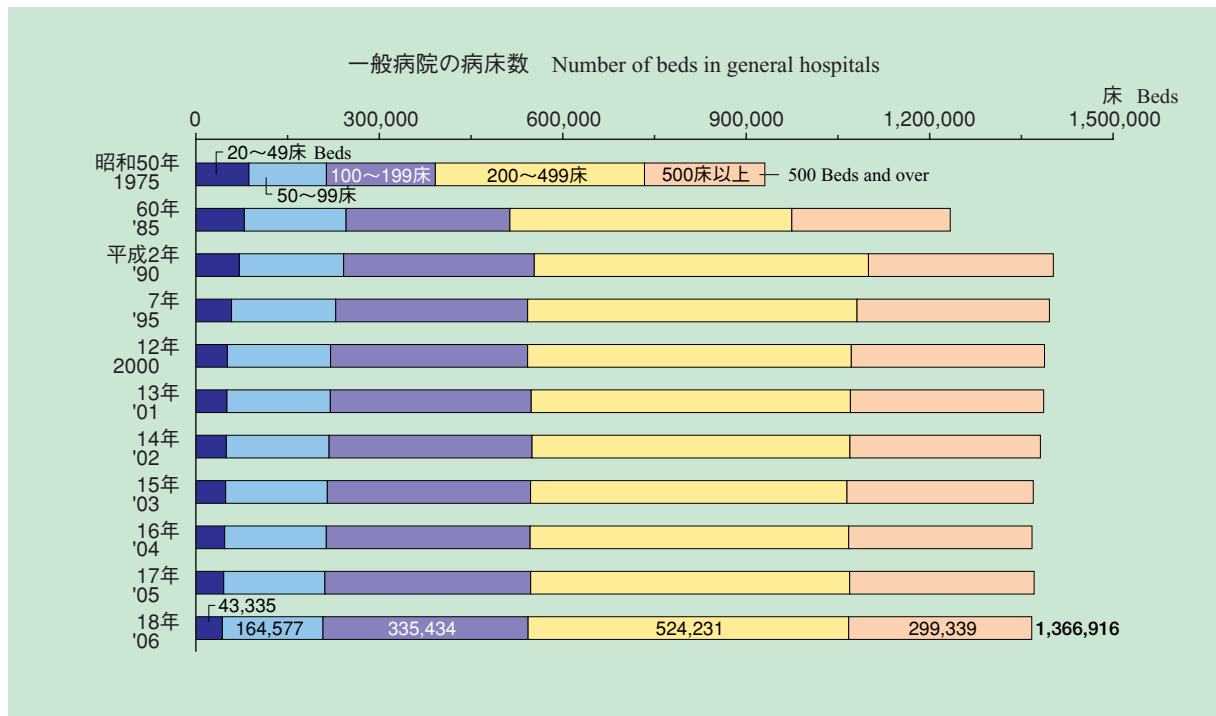
### 2-6 病床規模別にみた一般病院数及び病床数の年次推移

Trends in the number of general hospitals and the number of beds by hospital size, 1975-2006



注：昭和50年は12月末、昭和60年以降は10月1日現在である。

(医療施設調査)  
(Survey of Medical Institutions)



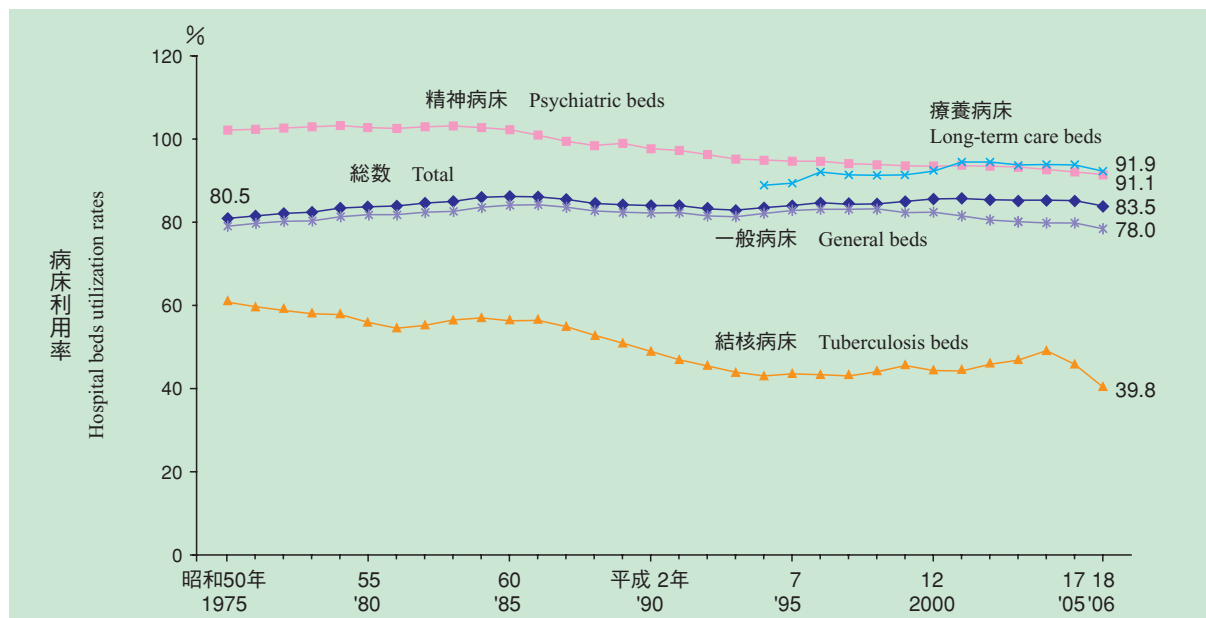
注：昭和50年は12月末、昭和60年以降は10月1日現在である。

(医療施設調査)  
(Survey of Medical Institutions)

## 病床利用率は横ばい、平均在院日数は短縮傾向

### 2-7 病院における病床の種類別みた病床利用率の年次推移

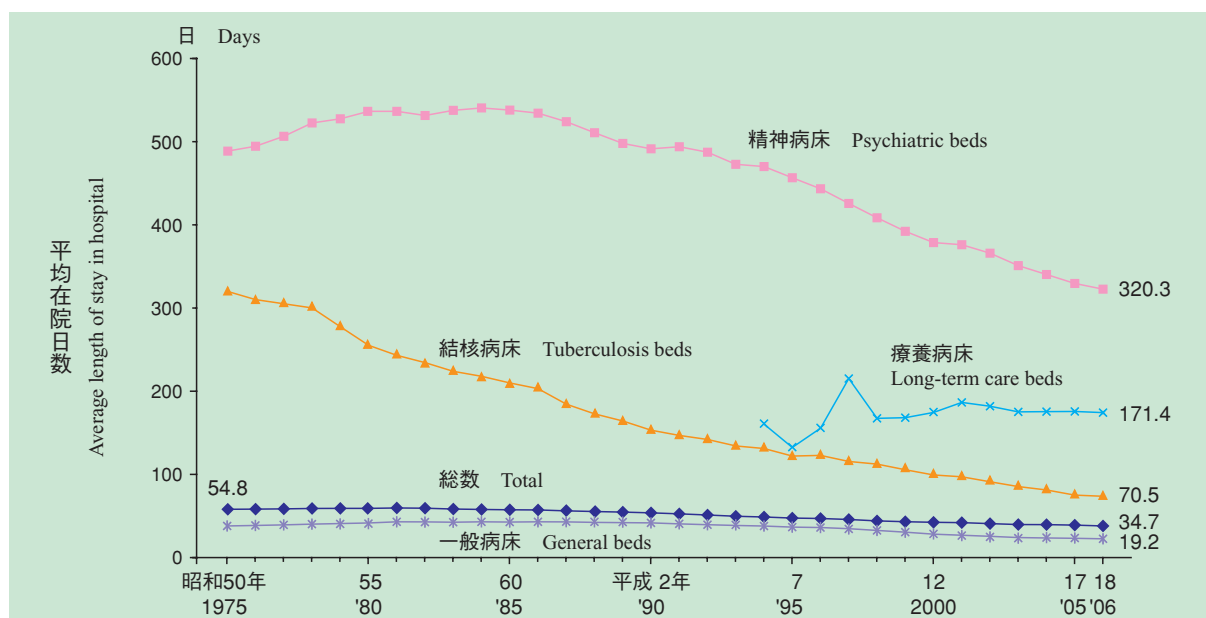
Trends in hospital bed utilization rates by type of bed, 1975-2006



- 注：1 病院の種類分類方法を現行の方法で整理しているため、各年の報告書と不一致の部分がある。 (病院報告)  
 2 療養病床については、平成8～11年は療養型病床群、平成14年は療養病床及び経過旧療養型病床群の数値である。 (Hospital Report)  
 3 一般病床については、平成8～11年まではその他の病床（療養型病床群を除く。）、平成14年は一般病床及び経過旧その他の病床（経過旧療養型病床群を除く。）の数値である。  
 4 平成11年までは、従来の算出式（病床利用率＝（1日平均在院患者数÷6月末病床数）×100）による。

### 2-8 病院における病床の種類別みた平均在院日数の年次推移

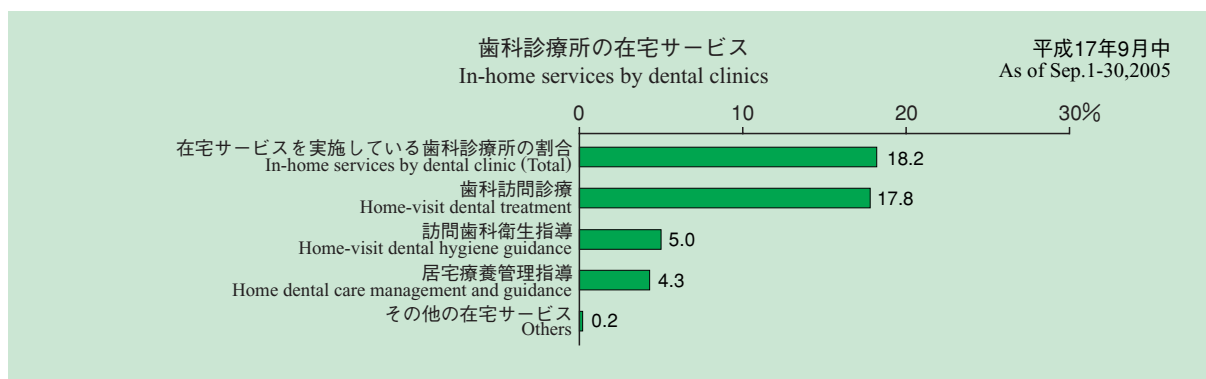
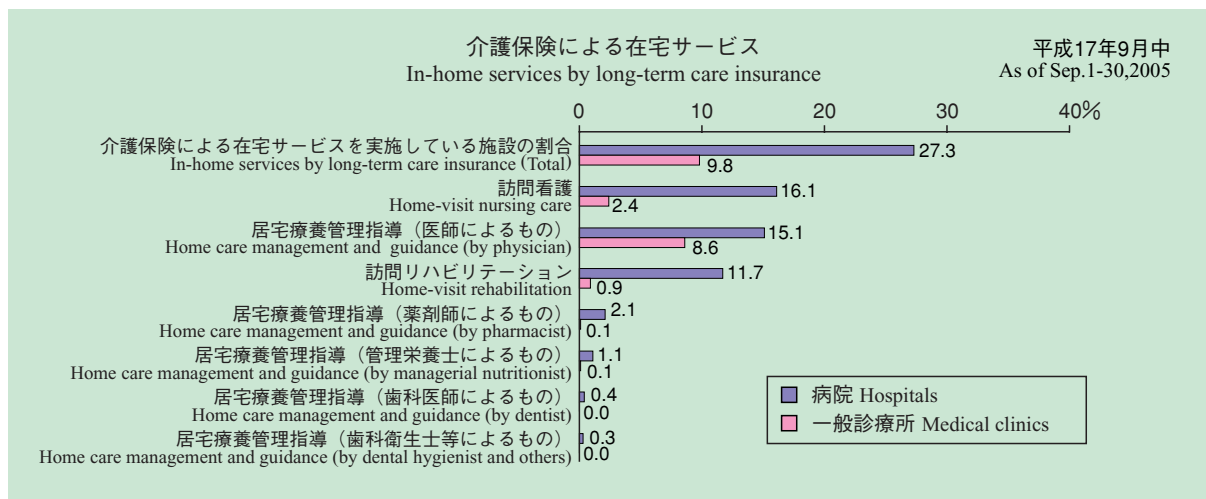
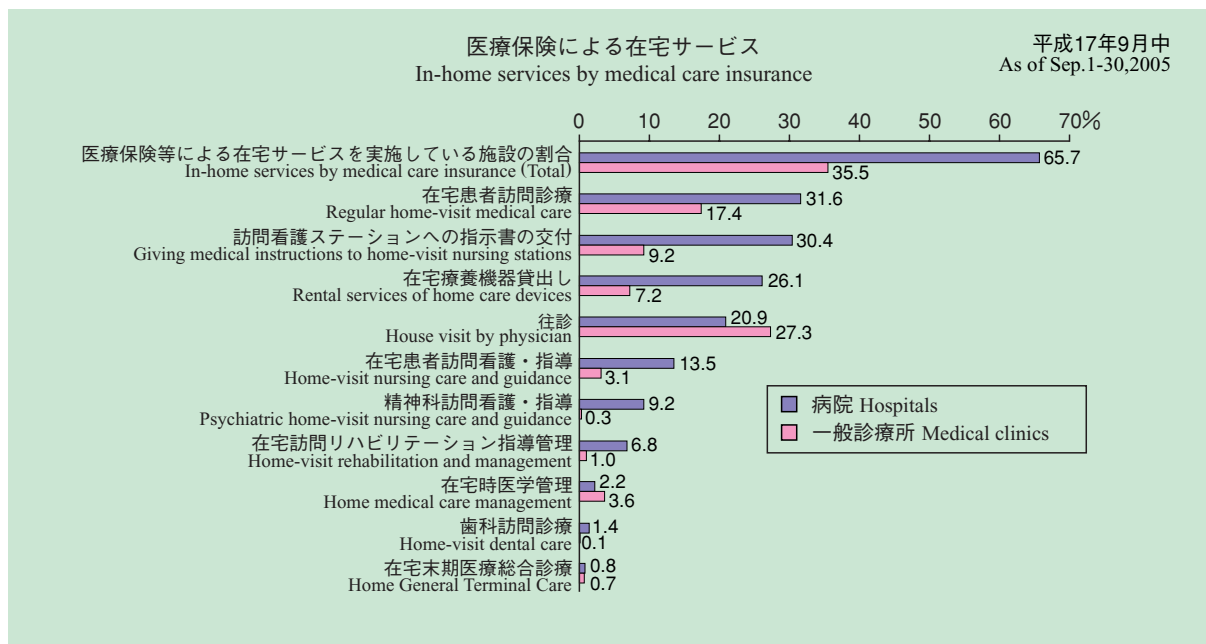
Trends in average length of stay in hospitals by type of bed, 1975-2006



- 注：1 病院の種類分類方法を現行の方法で整理しているため、各年の報告書と不一致の部分がある。 (病院報告)  
 2 療養病床については、平成8～11年は療養型病床群、平成14年は療養病床及び経過旧療養型病床群の数値である。 (Hospital Report)  
 3 一般病床については、平成8～11年まではその他の病床（療養型病床群を除く。）、平成14年は一般病床及び経過旧その他の病床（経過旧療養型病床群を除く。）の数値である。  
 4 療養病床の平均在院日数は、平成8年までは1年間すべて「療養病床」のみの病院の平均在院日数である。

## 医療保険等による在宅サービスは、病院の65.7%が実施

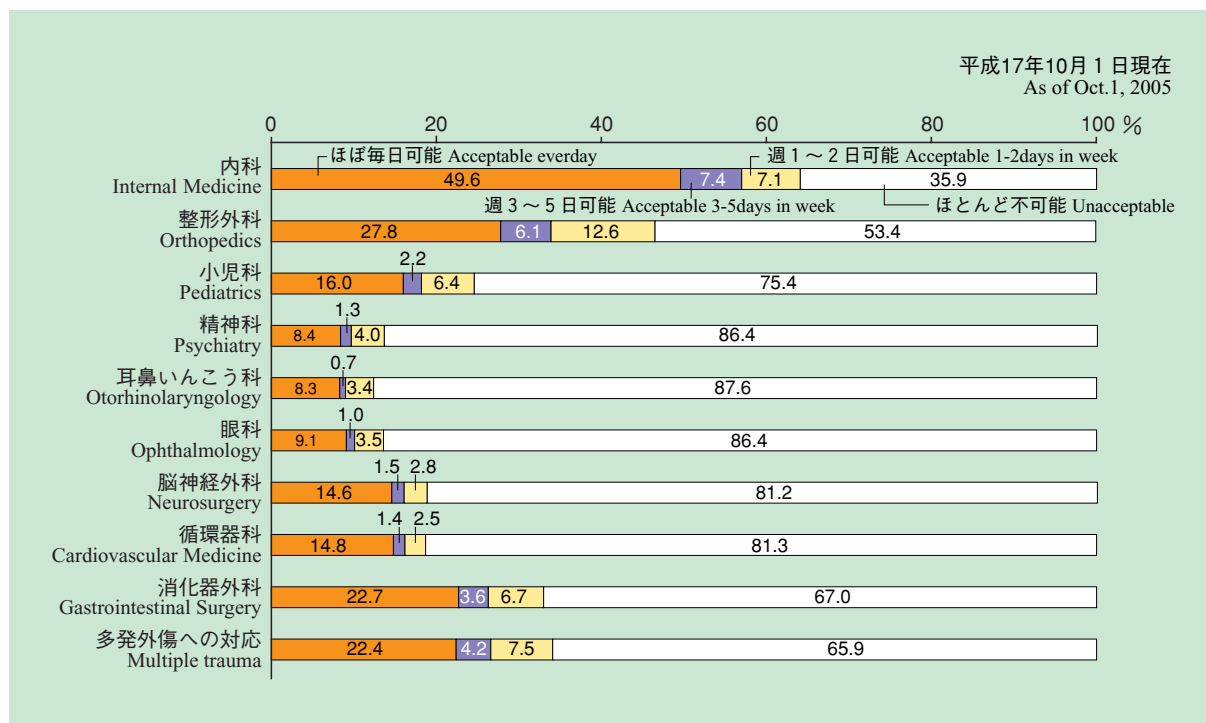
### 2-9 在宅サービスを実施している医療施設の割合 —平成17年— Proportion of health care facilities providing in-home services, 2005



## 病院の夜間救急対応 「ほぼ毎日可能」は内科では約半数、小児科は16%

### 2-10 病院の夜間（深夜も含む）救急対応の状況 —平成17年—

Proportion of hospitals accepting emergency care patients during nighttime hours, 2005



注：1 「脳神経外科」は開頭術、「循環器科」は心臓カテーテル、「消化器外科」は開腹術を対応可能であることを表す。

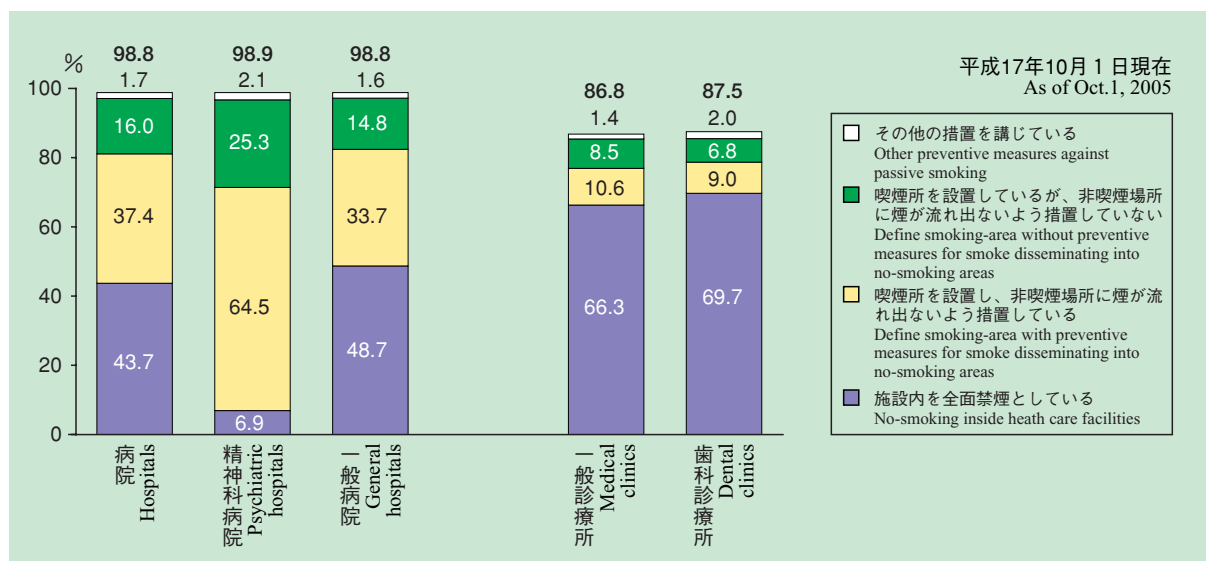
2 「不詳」を除いた全施設数に対する構成割合である。

(医療施設調査)  
(Survey of Medical Institutions)

## 病院の98.8%は受動喫煙防止対策を講じている

### 2-11 医療施設における受動喫煙防止対策の状況 —平成17年—

Proportion of health care facilities taking preventive measures against passive smoking, 2005



(医療施設調査)  
(Survey of Medical Institutions)

〈参考〉

「健康日本21」では、公共の場で分煙を実施している割合を100%にすることを2010年の目標としている。